

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 23 年 1 月 13 日 (2011.1.13)

【公開番号】特開 2009-148616 (P2009-148616A)
 【公開日】平成 21 年 7 月 9 日 (2009.7.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-027
 【出願番号】特願 2009-90521 (P2009-90521)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 22 年 11 月 24 日 (2010.11.24)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

識別情報を可変表示可能な可変表示手段を備え、あらかじめ定められている可変表示の実行条件が成立した後、可変表示の開始条件の成立にもとづいて識別情報の可変表示を開始し、当該識別情報の可変表示の表示結果が特定の表示結果となったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御可能となる遊技機であって、

可変表示に関わる決定に用いられ、所定の数値範囲で数値データを更新する数値データ更新手段と、

可変表示の実行条件の成立時に、前記数値データ更新手段が更新した数値データを抽出する数値データ抽出手段と、

前記数値データ抽出手段が抽出した数値データを所定の記憶領域に格納する数値データ格納手段と、

可変表示の実行条件の成立時に、前記数値データ抽出手段により抽出された数値データが所定の判定値と合致するか否かの判定を行う実行条件成立時判定手段と、

前記実行条件成立時判定手段により所定の判定値と合致するという判定がなされたときに、当該所定の判定値と合致するという判定がなされた旨を、当該所定の判定値と合致するという判定がされた可変表示の実行条件の成立にもとづく可変表示の開始条件が成立する以前に報知するための報知演出を実行するか否かと、該報知演出の実行回数とを決定する演出決定手段と、

前記演出決定手段により決定された実行回数分の前記報知演出を複数回の可変表示に亘って実行することによって連続演出を行う演出実行手段とを含み、

前記演出実行手段は、前記実行回数分の前記報知演出の実行が完了する前に可変表示の表示結果が前記特定の表示結果となった場合には、前記実行回数を初期化して前記連続演出を終了させる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明による遊技機は、識別情報を可変表示可能な可変表示手段（例えば可変表示装置 9）を備え、あらかじめ定められている可変表示の実行条件（例えば、遊技領域に設けられた始動入賞領域への入賞）が成立した後、可変表示の開始条件（例えば、前回の特別図柄の可変表示および大当り遊技状態の終了）の成立にもとづいて識別情報の可変表示を開始し、当該識別情報の可変表示の表示結果が特定の表示結果（例えば左中右図柄が同一の図柄）となったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態（例えば、大当り遊技状態）に制御可能となる遊技機であって、可変表示に関わる決定に用いられ、所定の数値範囲で数値データ（例えば大当り判定用の乱数を発生するためのカウンタのカウント値）を更新する数値データ更新手段（例えば遊技制御手段のうちステップ S 1 7，S 2 2，S 2 4 を実行する部分）と、可変表示の実行条件の成立時に、数値データ更新手段が更新した数値データを抽出する数値データ抽出手段と、数値データ抽出手段が抽出した数値データを所定の記憶領域に格納する数値データ格納手段と、可変表示の実行条件の成立時に、数値データ抽出手段により抽出された数値データが所定の判定値と合致するか否かの判定を行う実行条件成立時判定手段（例えば遊技制御手段におけるステップ S 1 2 2 ~ S 1 3 3 を実行する部分）と、実行条件成立時判定手段により所定の判定値と合致するという判定がなされたときに、当該所定の判定値と合致するという判定がなされた旨を、当該所定の判定値と合致するという判定がされた可変表示の実行条件の成立にもとづく可変表示の開始条件が成立する以前に報知するための報知演出を実行するか否かと、該報知演出の実行回数とを決定する演出決定手段と、演出決定手段により決定された実行回数分の報知演出を複数回の可変表示に亘って実行することによって連続演出を行う演出実行手段とを含み、演出実行手段は、実行回数分の報知演出の実行が完了する前に可変表示の表示結果が特定の表示結果となった場合には、実行回数を初期化して連続演出を終了させることを特徴とする。

。

そのような構成によれば、可変表示の開始前にその可変表示にかかわる演出として実行される演出の種類を多様・多彩とすることができ表現力豊かな、興趣に富む演出を行うことができる。